

# Kyokuryo Exchange Program

## 「旭陵留学生プログラム」 Newsletter

岐阜県立中津高等学校

同 窓 会

平成30年3月14日

Vol.7

先日本校を卒業した第12期生 平岡咲奈さんより卒業にあたってのレポートと思い出の写真が届きましたので報告します。平岡さんはこの春から大阪府立大学 地域保健学域 看護学類で看護学について学びます。

### □留学したからこそ得ることができたもの

高校生活4年間、私もついに卒業を迎えました。本当にこの時間は、たくさんの人が支えてくださり、物事に対して一歩踏み出す勇気を与えてくれました。そうして、形にできたアメリカ留学は私の中で大きな財産です。

留学を通して、いかに自分が今まで楽をしてきたのか、また自ら行動していなかったのかがわかりました。人任せにしてしまえばそれまで、事は進んでいきます。辞書を使えば知りたいことをすぐに知ることができてしまいます。でも、果たしてそれ

が自分のためになっているのかということを考えさせられました。どうにかなるだろうでは、ダメなんです。もっと前のめりになって積極的に参加すること、興味を持つことが、楽しいと感じられるきっかけになります。自信のないことでも自分でやってみることで新しい発見がありました。分からないことを人に聞くことで、問題も解決し、コミュニケーションも図ることができました。そうして、また新たなことを「知る」楽しさを感じられるようになったことは大きな成長です。

また、同じ夢を追いかける仲間の存在はとても大切だと思いました。切磋琢磨しあえる仲間がいることで、一人じゃないという安心感をいつも与えてくれました。そういった仲間は、一生の付き合いだと思うので、大事にしていきたいです。

### 2年生の思い出(沖縄修学旅行)



また、同じ夢を追いかける仲間の存在はとても大切だと思いました。切磋琢磨しあえる仲間がいることで、一人じゃないという安心感をいつも与えてくれました。そういった仲間は、一生の付き合いだと思うので、大事にしていきたいです。

### ■視野は常に日本と海外に

そして、この春から私はまた新たな生活が始まります。大学に進学をし、一人暮らしです。看護学を学び、患者だけでなく患者を支える家族をもサポートする看護師を目指します。それから、私はアメリカで多くの身近な人が持病を持ち生活していることに触れたことから、国際看護に興味があります。だから、視野は常に日本と海外に持ち、生活していきます。これからの出会いを大切に、仲間を作り、勉強に励みます。多少の不安はありますが、そのような時には、今までの仲間や先生、家族がいます。焦らず、自分のペースで様々なことに挑戦していき、他人のために働ける人になりたいです。

同期の萌里さん、千奈さんとは留学中も留学後もお互いを高め合う関係が続いています。人生を刺激し合える仲間に出会えたことは一生の宝物です。



野球部マネージャーとしてチームを支えました



12期生の仲間と卒業式でのショット